

保護司処遇におけるSST研修

平成29年8月24日（木）、25日（金）の2日間、「保護司処遇におけるSST研修」を開催しました。その様子を紹介します。

1日目 午後1時から6時まで

①



研修員は富山県から沖縄県までの保護司32名。全国保護司連盟笠原事務局長の挨拶で始まりました。2日間で10時間の研修です。

②

SSTは対人行動能力を伸ばすように支援する方法です。特色や、どのように発展してきたか、使える場面など、講師の体験談も交えながら学びました。



研修開始から1時間程度、講義を行いました。

講義

③



グループSST



机を取り払い、実際にSSTを体験します。練習順序の説明後、基本訓練モデルのデモンストレーションを参考に、「休憩時間に自分から同僚に声をかける」を課題にグループSSTを行ってみます。



④

正のフィードバック



話を聞いて、よかったところを具体的にほめることが大切です。

さらに4人1組に。自己紹介をし、「今楽しみなこと」を順番に話し、それを聞いてどこがよかったか述べます。



ほめられてみて、どう感じましたか？



⑤



「ひとりSST」のデモンストレーション。対象者と保護司とで行う方法で、SSTを面接で使えることを知ってもらいます。

ひとりSSTのデモ

ひとりSSTの練習



⑥

全体を3つのグループに分け、3人の講師がそれぞれのグループを担当。ひとりSSTを丁寧に指導しました。

2日目 午前9時から正午・午後1時から3時まで

2日目開始。
まずはウォーミングアップ
でリラックス。
写真は天突き
体操



ウォーミングアップ

コインマップ

コインを使用し、自分と他の人との関係を表すことで、
人間関係や変えていきたいところなどを目で見える形
で捉えることができる技法です。



コインマップのデモン
ストレーションでは
「サザエさん」の家庭
を表してみました。



解決しなくてはならない問題が発生したとき、
もっと別の考え方はないだろうか、長所・短
所を考えながら解決し
ていきます。

問題解決

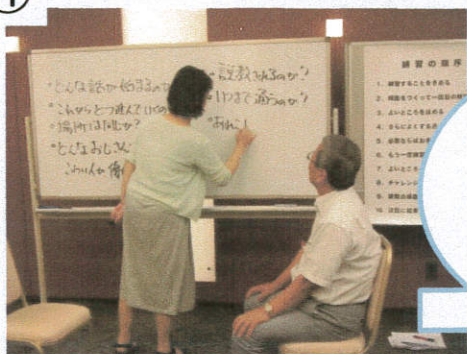


「酒の誘いを断る」を
課題に、方法を挙げて
もらい、それぞれ長所
と短所を挙げました。
その中からどの方法が
いいか挙手



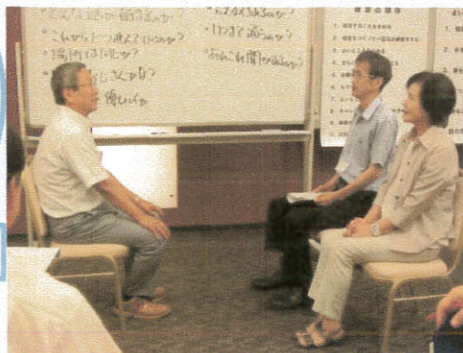
④

波長合わせ



面接の前に対象者の気持ちなどを考えてみます。

どんな声かけをするとよいかなど、練習してみましよう。新任の保護司の方と役割交換で練習してみるのも効果的。



⑤

10時間の研修終了です。最後に、それぞれのグループから1名ずつ、グループ担当講師から修了証書を授与しました。

修了証書授与

